



令和 3年 8月 30日
午前・午後 // 時 29分 受領

令和 3年 8月 30日

南山城村 議会議員 梅本 章一 様

南山城村議会議員 齋藤 和憲



一 般 質 問 通 告 書

次の通り通告します

質問事項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. コロナ禍から 村民の命とくらしを守るために	<p>今、国の無策とデルタ株の影響で、全国的に新型コロナウイルス感染者が増大している。このような中で、村は村民の立場に立ち、早い給付金の支給やワクチン接種も村内の医療従事者と協力し、65歳以上のワクチン接種は96%を超え、12歳以上の2回目のワクチン接種は85%を超えている。しかし、村で8月に新たな感染者が発生し、全国的には10歳以下の陽性者も増加しており、ワクチン接種以外の対応が必要である。また、くらしを守るために、村独自の村民全員への商品券配布、子育て世帯への生活支援が実施されている。しかし、この異常気象の中で、野菜を中心とした生活物資も値上がりし、年金生活者も生活が苦しい状況だ。そこで質問する。</p> <p>① コロナ対策はワクチン接種とPCR検査及び人流抑制だ。 ①-1 村内でクラスターを起こさないために、保育園園児・学校児童に接する保育士・教職員や体力の弱い高齢者が集まる福祉施設の職員への定期的なPCR検査をすべきだ。 ①-2 「道の駅」の店内は平日でも他府県の利用者で密状態であり、いつクラスターが発生してもおかしくない。デルタ株は今までと違う。「道の駅」の人流抑制を行うべきだ。また、そこで働く従業員は日々感染の危険にさらされている。従業員の感染防止は全村民を守ることにもなる。従って村が補助してでも定期的なPCR検査を実施すべきだ。</p> <p>② 高齢者の生活支援のために、期限を区切った、水道の基本料金の値下げはできないか。</p>	村長
2. 村の災害対策について	<p>今、全国的に大雨洪水による被害が多発している。特に7月3日に熱海市で発生した盛り土崩壊による土石流での被害は自然災害ではなく人災の可能性もあるとの指摘がある。村でも以前に大雨による茶園の崩壊で、水道施設が壊れたこともあった。共産党議員団は7月26日村長に、「村内盛り土地域の緊急調査とメガソーラー開発の点検」を要望した。また、政府からも「盛り土の安全を全国で確認」と「太陽光の山林開発で災害を防ぐ立地規制を検討する方針」が出た。そこで質問する。</p> <p>① 村は大部分が砂防指定地であり、住宅地での盛り土以外でも危険な状態だ。党議員団が要望した村内での調査状況を確認したい。</p> <p>② 盛り土に限らず、村道など危険個所が存在する。危険個所のハザードマップへの表示やホームページへ載せ、村民に周知すべきだ。</p> <p>③ 今回の熱海市の状況を見て、村内メガ開発において砂子田川溪流部盛り土による埋め立て工事の見直し検討を業者にさせたのか。</p> <p>④ 雨のたびに殿田川、中谷川に汚濁水が流出している。小手先のみで完全防止対策が出来ていない。こんな企業に住民の安全安心の工事ができるのか。</p>	村長

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3、村発展のためにコミュニティー事業の強化を	<p>昨年度、「明日の村を創る」事業として、一つのコンサルに68% (1818万円) 総額2654万の予算で、地方創生交付金事業が実施された。一方、一部地域では高齢化と人口減少等により、盆踊りの中止や体育振興会や子供会廃部が行われた。高齢者も先行き不安により、住み慣れた村を離れ、村外の子供のところへ行くなど、人口減に拍車をかけている。「明日の村を創る」事業も大事だが、「今日の村を創る」ための予算も今以上に充実すべきだ。そこで質問する。</p> <p>① 昨年度の地方創生交付金事業の成果で、今年度事業および「明日の村を創る」事業に繋がっている内容を確認したい。</p> <p>② 高齢者向けの食事配達を週1回から週2回の計画を作成しているが、実施はいつか。</p> <p>③ 広域バスや村営バスで自由乗降や乗り場の増加などの要望がある。このバスは住民とりわけ高齢者など”交通弱者”の「足」として出来たものだ。困難さはあると思うが、村民の立場に立って要望に応えるべきだ。</p> <p>④ 高校生への通学補助を来年度から実施できないか。</p>	村長

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載してください。(議員必携154ページ参照)

2 質問の相手は、村長、行政委員の長または監査委員とします。